



末續慎吾選手 世界陸上大阪大会の結果

◇男子200m

1次予選 20秒47 予選通過  
2次予選 20秒70 予選落ち

◇男子4×100mリレー (塚原、末續、高平、朝原)

予選 38秒21 予選通過(日本記録・アジア記録更新)  
決勝 38秒03 5位入賞(日本記録・アジア記録再更新)



末續慎吾選手  
男子200m2次予選  
スタート直前の様子



世陸応援タスキキャラ  
バンのコーナーに出演  
しました。

8/16 (木)  
応援タスキ  
キャラバン



末續選手へ皆様から  
寄せいただいたメッセ  
ージを送りました。

8/15 (水)  
メッセージを  
送付



スタッフが応援Tシャツ  
(白・黒を着用して勤  
務！応援の機運を盛  
り上げました。

8/14 (火)  
応援Tシャツ



鶴屋百貨店東館と熊本  
市役所花畑別館に応援  
の懸垂幕が掲げられ  
ました。

8/7 (火)  
応援懸垂幕！

世界陸上へ向けて、さまざまな応援が展開されました。



総合体育館の応援ギヤ  
ラリーに2次予選の写  
真などを展示しまし  
た。

8/30 (木)  
応援ギャラリー  
に写真追加！



末續選手を長居陸上競  
技場で応援しよう！と、  
応援ツアーが発刊。  
(レポートは次ページ)

8/28 (火)  
応援ツアー

熊本市総合体育館・青年会館で末續慎吾選  
手への応援を盛り上げよう！と、応援ギヤ  
ラリーを開設しました。記者会見・激励会  
の模様などの写真、応援ポスターやクイズ  
などを展示しました。

8/23 (金)  
熊本市総合体育館・青年会館に  
応援ギャラリー開設！



広報誌「スポーツライフ  
くまもと」臨時増刊号  
として『火の国スプリン  
ター 末續慎吾』を発行  
しました！

8/21 (火)  
増刊号発行！

なお、賞品は、抽選で決定いた  
しますので、選へません。当選者  
の発表は発送をもってかえさせ  
ていただきます。

〒862-0941  
熊本市出水2-7-1  
(財)熊本市社会教育  
振興事業団  
総務課  
スポーツライフくまもと  
10月号  
末續選手係

※平成19年10月31日(水) 必着

応募券  
末續選手への  
応援メッセージ  
住所 氏名  
年齢  
電話番号

◆応募方法  
P3にある応募券(本誌のみ)  
ウロロード「コレ」を貼り、  
末續選手への応援メッセージを添  
えてハガキで応募ください。

サイン色紙(3名と  
サイン入り応援プロジェクト  
ポスター(3名)を  
抽選でプレゼント！



▲ポスターにサインする末續選手

末續慎吾選手の



## 世界陸上2007 末續慎吾選手 応援ツアー (8月28日~29日)



長居陸上競技場

応援ツアーには、20名が参加しました。

28日午前8時に熊本駅で出発式を行い、「一番光るメダルの獲得を期待します」との小田理事長のお見送りの挨拶とともに応援団一行は、ぜひ決勝まで出場してほしいとの思いを抱いて出発しました。

### 一次予選突破！ 2次予選へ思いをはせる

大阪は雨模様の予報で、天候が心配されました。

末續選手は午前11時10分に1次予選に出場予定で、結果が気になりつつも、博多駅で新幹線に乗り換えました。途中、一次予選通過との朗報が届き、2次予選へ胸躍らせながら大阪入りしました。

開場の午後6時より早めに長居陸上競技場に到着しました。公園入口には、花壇に花で「4」が目印としてあり、来場者を迎えています。会場の暑さをしのぐため、また、土ほこりを防ぐた

めに、スタップが絶えず打ち水をしていました。

公式スポンサーの「コマースナルディスプレイ」では、各社が趣向を凝らし体験・参加型イベントが行われたほか、大会で使用している用具等を展示していました。ミズノのブースは、陸上競技ファンで埋め尽くされ長蛇の列。入ることができませんでした。

また、環境に配慮した大会をアピールするため、リサイクルのシステムが展示されていました。フードコートでは、食事の際にでたゴミを分別するゴミ箱を置くだけでなく、分別を確認するスタップも配置してありました。

入場ゲートには、手荷物検査等の厳重なセキュリティチェックがあり、まるで空港のようでした。ハットポトルすら持ち込めないような厳しさです。

競技場に入場すると驚く光景に目を奪われました。まばゆいばかりの照明に照らされたトラックとフィールド、これが世界最高の陸上の舞台。

活躍する選手の熱気と意気込みを肌で感じました。競技開始前、多くのスタップがこれから繰り広げられる競技に向けて準備をしています。そして、前夜の男子10000mと女子の100mの表彰式が行われました。

フィールドでは女子棒高跳び、男子円盤投げ、トラックでは女子100m障害から、ナイトセッションがスタート。あちこちで競技があるので、どれを注目しようかと迷うくらいでした。

### 横断幕を掲げ、 末續選手へ声援を送る

午後8時を回るころになると、男子200mのスタート地点に近い私たちの席から、出場する選手たちの姿が見えはじめました。末續選手の登壇に横断幕を用意して待機しました。3組目で走る末續選手は100mで優勝したタイソン・ゲイ選手(アメリカ)と同組です。応援団は、わくわくして応援に熱が入りました。

末續選手は午後8時15分過ぎにトラックに現れました。入念にスターティングブロックの調整をし、スタートの練習をしました。スタートが近づくと、観客席も緊張が高まってきました。ほら貝がなり、選手たちがコール

される中、末續選手のときは競技場が揺れるほどの拍手と歓声が上がりました。

一転して、静寂に支配されたスタンドは息を呑んでスタートする瞬間を待ちました。ピストルが鳴ると同時に、選手たちが飛び出し、あつという間に目の前を過ぎていきました。末續選手は、きれいなスタートを切りました。100m過ぎから思うように伸びず、20秒70のタイムで6着に終わり、惜しくも準決勝進出を果たせませんでした。ゴールした瞬間、会場からはため息がもれました。

末續選手本人が一番がっかりし、悔しかったと思います。しかし、この世界陸上に出場資格があるだけでも素晴らしいことです。来年の北京オリンピックでは、末續選手自身が納得いく成績を残して欲しいと願い、引き続き応援することを誓いました。

### 世界最高レベルの競技を 間近で見る

末續選手のレース後も、そのまま他の種目を観戦しました。

目の前ではずっと、女子棒高跳びの決勝が続いています。注目のイシノバエワ選手(ロシア)は、1度だけ跳んで、その後なかなか跳躍をし

ません。4m80でやっと登場。1度失敗してからポールやポジションを変え、2度目に成功しました。これで優勝が決まり、5m02の世界新記録に挑戦しましたが、残念ながら記録更新はなりません。

他にも、3000m障害や400m障害など、世界最高峰のレースを間近で見ることができました。タイソン・ゲイ選手は、とても速いのが、非常に印象的でした。競技場を後にし、ホテルに戻ったのは午後11時半ごろになりました。

29日は、前夜の余韻に浸りながら、お昼過ぎに大阪を出発し、午後6時半に帰熊しました。

解散式では、古川常務理事から、ツアー参加者へのお礼の挨拶とともに、引き続き末續慎吾選手を応援することを確認してツアーを終了しました。「末續選手の結果は残念だったが、貴重な舞台を目の当たりにしていい経験でした」と参加の皆さんは口々に感想を述べられています。参加された皆さん、大変お疲れさまでした。



▲写真上 公園入口の花壇  
写真下 リサイクル油化装置

▼写真上 男子3000m障害  
写真下 女子棒高跳び

